

授業デザインにおけるシラバスの 意義とその作成について

授業デザインとは、学習内容をどのように構成・配置するかであり、担当する科目の学習の目標・内容・方法及び評価方法の全体像を設計することです。そしてデザインした授業の全体像を学生にきちんと伝えるための手段がシラバスです。しかし、学生はあまりシラバスを読んでいないなど、その必要性や効果を実感できないという先生も多いのではないのでしょうか。

そこで、次年度のシラバス作成の時期に合わせて研修会を開催いたします。先生方の個々の授業について、学科のディプロマ・ポリシーとの関係から考え、学習効果を高めるための表現方法を学んでみませんか？

平成29年

12月8日 **金** 16:40～ (約90分)

中央キャンパス文学2号館 3階 L2-32教室

- 対象：全教職員（非常勤の方、職員の参加も歓迎）
- 参加希望の方は教育開発支援室にご連絡ください

内容

授業デザインの概念や目的から、授業デザインの中心となるシラバスについて、その役割や効果、具体的な書き方などを受講者同士のピアワークを交えながらご講演いただきます。
(職員の方は、今年度開講科目のシラバスをご持参ください。)

講師

齊尾 恭子氏

大阪電気通信大学 教育開発推進センター 特任准教授

《略歴》

関西大学大学院心理学研究科博士前期課程 認知・発達心理学専攻修了
専門分野は高等教育論、教育心理学

中学校・高等学校教諭、関西大学教育開発支援センター
研究員、島根大学教育開発推進センター准教授などを
歴任の後、平成28年より現職。

(今年度より始まった本学の新任教員研修プログラムの講師を
ご担当いただき、好評を得ました。)

《お問い合わせ先》

教育開発支援室 (担当：稲積・田中・岩本)

電話 (0798) 56-9070

内線 6410～6412

e-mail seds@mukogawa-u.ac.jp

